

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第192号

平成31年(2019)3月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-22-3 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

花めぐり

ゲンペイモモ
源平桃



少しずつ暖かくなってきましたね。森公園の近くに、紅白の花を咲かせる木があります。その木は鑑賞用として

改良された「ハナモモ」の一種で「源平桃」というそうです。満開になるとそれはきれいで、日々楽しみにしています。

花は花弁が10～20枚の八重咲きで、枝は垂れ下がる「枝垂れ」の特徴があります。「源平桃」という名前の由来は、紅と白の花が1本の木に咲き乱れる様子を、白旗の源氏、紅旗の平氏の「源平合戦」にたとえて名付けられました。争いが絶えなかった両者が、今は仲良く1本の木に納まっています。

中国では桃は邪鬼を払い福をもたらすとされ、それが日本へ伝来し、3月3日のひな祭りに添えられるようになったようです。

(小山台2丁目町会・木村美智代)

青少年対策荏原第一地区委員会による冬の企画「こどもの国で遊ぶ！親子でスケート&駅弁／冬でも外遊び！親子で冬を楽しもう！」が、2月17日（日）に実施されました。

今年の行先は、神奈川県横浜市と東京都町田市にまたがる「こどもの国」。様々な遊具や乗り物、スポーツ、アスレチックが楽しめる自然を生かした広大な遊び場です。

当日は天候にも恵まれ、朝の8時半に武蔵小山を出発しました。バスに揺られること約1時間。会場に到着し開会式を終えると、さっそくスケートリンクへ。会場はすでに他のお客さんで大賑わい。昨年に引き続き、今年も後



フォックスの選手の方による指導でメキメキと上達していく子どもたち

地区委員会
主 催

冬のアウトドアを満喫
「こどもの国」に57人が参加

トピックス

後地小新築現場から 貴重な“杭”が出現

小山2丁目西部町会の区域にある後地小学校が、現在新築工事中です。鉄筋の旧校舎の解体作業は、近隣の町会員が連日地震のような揺れを感じるほど、大掛かりな工事でした。

出現した松の杭は優に背丈を超える大きさ



昨年12月にその工事が終了し、いよいよ新築の工事に入りました。その基礎となる地盤工事の最中に、なんと地中から直径16センチ、長さ2・7メートルの丸太材が出現したのです。

その昔、この学校の立地場所はアシの生える湿地帯だったそうです。90年前そのよな土地に学校を建てる際に、対策として水に強く腐りにくい松の杭（くい）を沢山埋めて軟弱地盤を補強したのでしょう。永い間、子どもたちを地下から支え続け、このたび平成最後の12月に地上の空気にめぐりあえたのです。

(小山2丁目西部町会・総務部)

essay

「警察学校卒業式」

2月5日（火）、調布にある警察学校の卒業式に参加する機会に恵まれ、見学してきました。

1200人は入る大きなホールに、卒業生243名のほか、見守るご家族など

卒業式は年に6回ほど行われ、年間で1200人の卒業生を送り出すそうです。

荏原警察署には3名が配属され、卒業式終了後着任されています。

(中原共和町会・青木富代)

いつばいでした。

国家斉唱で始まりましたが、今までに聞いたことのない大合唱。所作がキビキビとされていて、とても清々しいものでした。警視總監の祝辞もありました。

午後からは外でパレードがスタート。凛々しい制服姿の卒業生が中央に並び、取り囲むように在校生、教官、保護者。当日は雲り空で気温が上がらず、とても寒い日でした。私たちにはホッカイロが支給され少しは寒さをしのぐことができましたが、一方の卒業生や在校生はコートを羽織ることもなく、制服姿のまましっかりと前を見て微動だにしませんでした。厳しい訓練を10ヶ月間受けた賜物でしょう。それぞれのクラスの旗を掲げて行進する姿は、とても頼もしいものでした。

各警察署や交番で勤務するおまわりさんもこんなに厳しい訓練を受けて、私たちの街を守ってくれたのかと思うと、感謝の念を禁じえません。本当にありがとうございます。そしてこれからも安心、安全のためにどうぞよろしくお願い申し上げます。

防災☆ワンポイント

(東京都発行「東京防災」より)

●防火対策

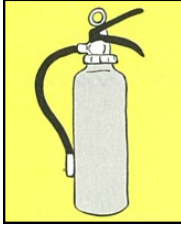
出火・延焼を防ぐ防火対策の重要性

東京防災の冊子



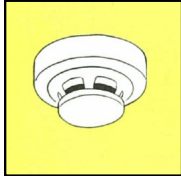
出火を阻止し、延焼を食い止めることが重要です。そのために、住宅用消火器や住宅用火災警報器、漏電遮断機、感震ブレーカーなどの設置をあわせて行うことが効果的とされています。また避難する際にはガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落としましょう。

住宅用消火器



小型で軽量のため、女性や高齢者でも簡単に使えます。消火薬剤が強化液の物と粉末の物と2種類あり、さらに手軽なエアゾール式簡易消火器もあります。タイプによって使用期限が異なるため、それに従って、取り替えましょう。使うときのことを考えて、キッチンの近く、廊下や玄関の隅など取り出しやすい場所に置きましょう。

住宅用火災警報器



寝室や台所などの天井に設置し、火災により発生する煙や熱を感知し、音や声により警報を発して火災の発生を知らせ、逃げ遅れを防ぎます。いざというときに警報器がきちんと動くように、電池切れに注意し、定期的に点検ボタンを押して、動作確認をしましょう。

漏電遮断器



漏電などで異常電流が流れると、約0.1秒で自動的に電気が切れる装置です。分電盤に取り付けられていて、家の中のどこかで漏電すると、家中の電気を止めます。既に漏電遮断機が設置されているかどうか確認し、まだの場合は設置すると安心です。